

(中間報告書)

# 第37期 株主通信

平成28年4月1日～平成28年9月30日



**ALMEDIO**

証券コード：7859

## トップメッセージ (株主の皆様へ)

Interview with the President



代表取締役社長

高橋 靖

### Q. 再成長計画 (ReGrowth2016) の進捗状況は、どうでしょうか？

#### A. 「新成長ドライバーの確立」に着手し、正念場を迎えています。

再成長計画は、3年目に入り、「経営体制の強化」を更に図りながら、次のステップである「新成長ドライバーの確立」に着手し、まさに正念場を迎えています。事業構造改革を進めたことで、前期（平成28年3月期）は、計画2年目の目標であった「連結営業利益176百万円」を達成することができました。

当上半期は、第3ステップの「新成長ドライバーの確立」を実現する為、新製品の投入と販路の拡大を進めました。具体的には、画像認識技術を活かした検査装置、セラミック高級棚板、高温小型電気炉等の商品群を今後の主力製品として育てていきます。

インダストリアルソリューション事業では、人件費の高騰が続くアジア市場、とりわけ中国市場を商機と捉え、生産ラインの省力化に繋がる検査装置の拡販を進めます。

まず、当上半期は、中国各地の産業機器展への出展や現地販売店と連携することで、認知度を高め、生産ラインへの試験導入を図り、顧客に省力化の効果や検査機能の評価を実施してもらっています。

今後は、試験導入の顧客を増やすとともに、試験導入の結果を踏まえ、生産ラインへの本格導入に繋がるよう営業活動を進めています。

断熱材事業は、子会社 阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司で高付加価値製品であるセラミック高級棚板や高温小型電気炉を開発し、市場投入を進めています。

これらの商品群は、今まで中国国内では製造するメーカーが無く、輸入に頼っていた為、中国唯一のメーカーとして市場からは注目されています。

### Q. 新製品導入の課題は何でしょうか？

#### A. 顧客のニーズを汲み取り、素早く製品に反映される対応力の強化です。

例えば、検査装置を製造の現場に提案しますと生産ラインでの対応について、様々な要

望がだされます。これらの要望を整理し、製品として対応できれば、採用の可能性が高まります。ただ、顧客への回答に時間がかかりすぎると商機を失うリスクが増えます。今後、受注を拡大するには、顧客の要望への対応力の強化が不可欠と考えています。

また、当社のビジネスポリシーである「製品を売るだけでなく背景も売る」ことを進めるには、アジア地域で技術サポート力のある販売店を含めたサービス網の整備、構築が必要と考えています。

### Q. 景況感はどうでしょうか？

#### A. 中国では太陽光発電用炉材の需要が堅調に推移しています。

国内の景気は、雇用環境は良好なものの、円高の進行による企業収益の下振れや個人消費の弱さを背景に低迷に推移している状況です。

一方、中国経済が減速し、市場需要全体の冷え込みが続いていますが、太陽光発電用炉材の需要は堅調に推移しています。

### Q. 当上半期の状況は、どうだったのでしょうか？

#### A. 売上、利益とも、計画を下回って推移しました。

アーカイブ事業は、産業機器向けドライブを中心に需要が堅調に推移しましたが、円高の影響を大きく受け、前年実績を下回りました。

長期保存用光ディスク及び光ディスク製

品の一般コンシューマ向けの販売を開始しました。

断熱材事業は、中国での太陽光発電炉材の需要が堅調に推移したものの、国内では、設備投資案件の受注時期の先送りが発生し、厳しい状況に推移しました。

ただ、下半期には、新たな商品の投入や受注が時期ズレた案件を取り込む等の営業活動を強化することで、上半期低迷分も取り戻す所存です。

インダストリアルソリューション事業は、米国の自動車販売の減速感が強まったことから、車載機器向けの需要が減少し、テストディスクの売上が低迷しました。

検査装置については、販売店とも連携し、中国及び東南アジアの顧客に試験導入を図り今後は生産ラインへの本格採用を目指します。

### Q. 今後の当社の方向性についてご説明ください。

#### A. スピード感ある機動的経営を進めていきます。

今後の当社発展は、「新成長ドライバーの確立」を素早く実現する事にかかっています。

新製品投入による取引先からの様々な要望や指摘、また事業環境の変化に迅速に対応したスピード感ある機動的経営を進めていく所存です。

株主の皆様には、どうぞ引き続き当社グループへのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 再成長計画 (ReGrowth2016)

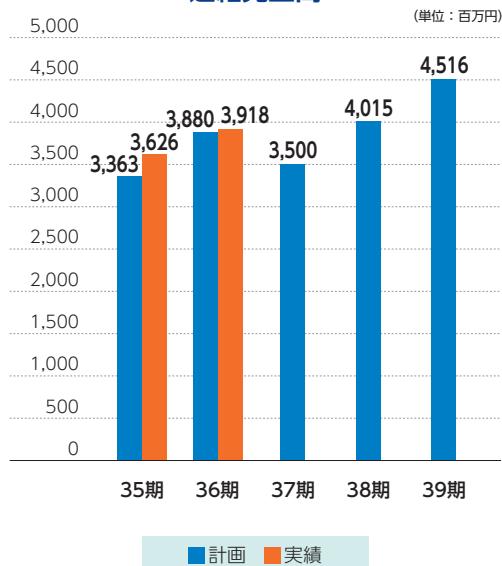
## 計画の進捗

中期計画ローリングにおいて、各事業計画の進捗を評価し修正するとともに、新たな収益事業の早期育成を目指し、事業構造改革をさらに進めています。

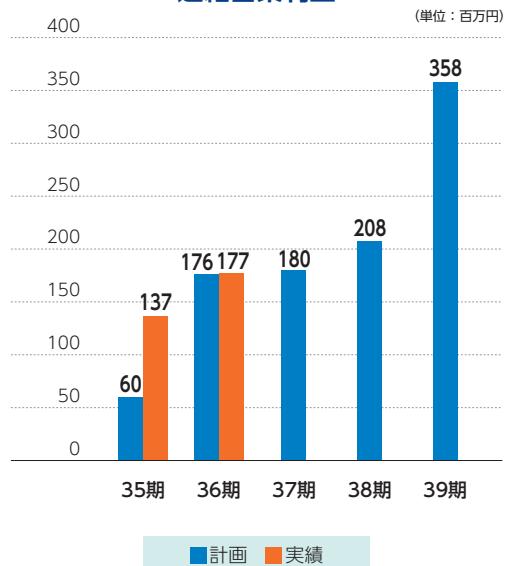
企業価値再成長に向けて「経営体制の強化」と「新成長ドライバーの確立」に引き続き取り組みました。

事業構造改革として、プロダクトインスペクション事業をインダストリアルソリューション事業と改称し、テストメディアの市場規模に対応した効率的な運営を進め、新たな収益源として検査装置と検査業務等を起点とした産業機器や周辺機器への事業領域の拡大を図りました。

## 連結売上高



## 連結営業利益



## 今後の取り組みについて

アルメディアは再成長に向けて以下の活動を行っています。

## ■アーカイブ事業

## ○アーカイブ

長期保存用製品の業務用途における需要の立ち上がりは緩やかなため、販売領域の拡大を目的として、写真家や写真愛好家をターゲットとしたコンシューマ向け販売を開始しました。あわせて写真フィルムのデジタル化サービスもスタートさせ、写真データの安心・安全な保存方法を提案し、拡販を行っています。



## ○ストレージソリューション

ATMをはじめとした産業機器では光ドライブが未だ根強いニーズがあります。高信頼性と顧客要求に柔軟に対応することにより、競合他社からの置き換え需要を獲得しています。さらに記録媒体や顧客ニーズの変化に対応した新たな商材への取り組みを開始しています。



売上計画 (単位：百万円)



## ■断熱材事業

当社の断熱材は、主に自動車鋼板や太陽光発電用パネルのウエハ製造に使用されています。中国における太陽光発電用パネルのウエハ製造用途としてのシェアは70%以上です。さらに昇降式高温炉や高級棚板などの高付加価値製品を投入し拡販を行っています。引き続き自動車需要や再生可能エネルギー需要を確実に捉えて拡大を図ります。



用語：棚板とは…焼成炉内に焼成物を載せる板。高級棚板は、材料純度が高いため焼成物に色うつりすることがなく、強く、割れにくい特徴があります。

売上計画 (単位：百万円)



## ■インダストリアルソリューション事業

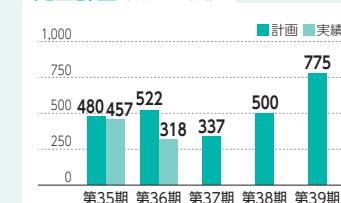
テストメディアに変わる新たな収益源として検査機ビジネスの育成を進めています。

人件費高騰などから工場の自動化が見込まれる中国市場をターゲットに拡販活動を行っています。多くの展示会へ出展し顧客獲得に努めた結果、引き合いは増加しました。顧客要求に応えた機能追加や取扱製品を拡充し事業領域の拡大を図っています。

※平成28年4月1日付でプロダクトインスペクション事業から改称しました。



売上計画 (単位：百万円)



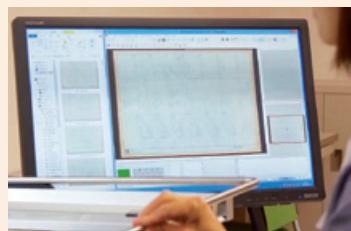
## セグメント別の概況

## アーカイブ事業

## アーカイブ

- 主な事業**
- ・光ディスクアーカイブソリューションの提供
  - ・ドキュメント電子化サービスの提供

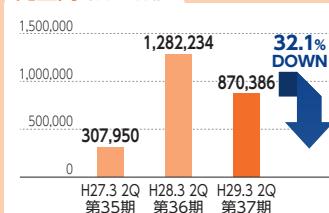
文書・画像・写真等の貴重な情報を光ディスクに記録し、長期保存・活用できる光ディスクアーカイブソリューションと、竣工図書をはじめとする各種文書の整理から電子化、記録・保存・管理までを当社が行うドキュメント電子化サービスを提供しています。増え続ける倉庫スペースの削減と、書類消失リスク軽減のためのバックアップを目的とした需要に対応しています。



売上高構成比

53.3%

売上高 (単位: 千円)



当上半期実績

光ディスクアーカイブソリューションは、一部の長期保存用製品をコンシューマ向けとして、写真家や写真愛好家をターゲットに販売を開始しました。写真フィルムをデジタル化する変換サービスも開始し、拡販を行いました。ドキュメント電子化サービスは、受注件数が伸び悩みました。

## ストレージソリューション

- 主な事業**
- ・産業用/AV機器用光ドライブの開発・製造・販売

産業機器やオーディオビジュアル製品に搭載される光ドライブの開発・製造・販売を行っています。ATMの取引ログやPOS端末の売上情報、医療検査機の診断データ等、貴重なデータを記録するため、高い信頼性や耐久性など、厳しい要求をクリアした光ドライブを供給しています。



当上半期実績

国内の設備投資が調整局面となり、海外は新興国経済の先行き不透明感が強まったため、需要が伸び悩みました。当上半期は前倒し需要が無かったことに加え、円高の加速により売上高が目減りしました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は8億70百万円（前年同期比32.1%減）となりました。

## 断熱材事業

- 主な事業**
- ・耐火材及び関連製品の開発・製造・販売

各種耐火材、断熱材及び関連製品の開発・製造・販売を行っています。

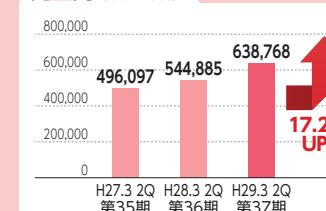
連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司が開発・製造を行っており、中国を中心に販売しています。国内では阿爾賽が開発・製造した各種耐火材、断熱材及び関連製品を輸入販売しております。材料販売だけでなく、設計から施工を行える体制があり、大手プラント受注による売上拡大をはかっています。



売上高構成比

39.1%

売上高 (単位: 千円)



当上半期実績

国内は、景気の先行き不透明感から、大口案件の多くが当下半年以降に時期ズレしました。阿爾賽は、回復した太陽光発電用炉材の需要が引き続き堅調に推移し、更に昇降式高温炉や窯道具の新製品投入により計画を上回りました。国内が計画を下回りましたが、阿爾賽は好調だったため、断熱材事業全体としては前半期を上回りました。

その結果、売上高は6億38百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

## インダストリアルソリューション事業

- 主な事業**
- ・テストメディアの開発・製造・販売
  - ・外観検査装置の開発・製造・販売

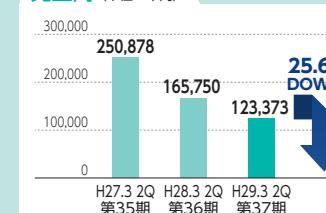
PCやAV関連機器の規準及び調整用テストメディアの開発・製造・販売と、各種ディスクの特性テストや各種検査を受託するテストングを行っています。テストメディアは世界のメーカーで幅広く採用され、世界No.1のシェアを占めています。新たに検査装置や検査業務の事業領域の拡大を進めています。



売上高構成比

7.6%

売上高 (単位: 千円)



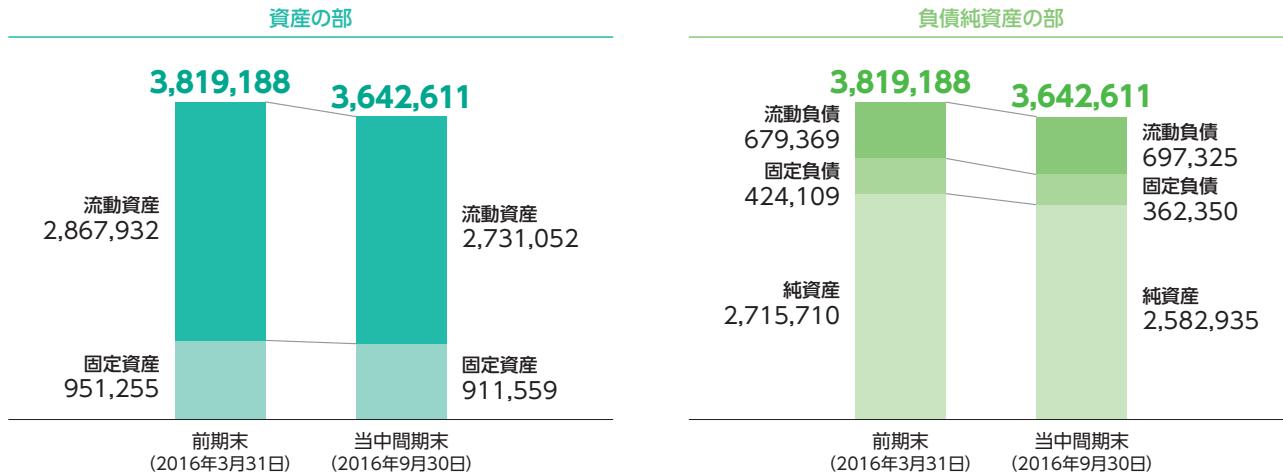
当上半期実績

米国の自動車販売の減速感が強まったため、カーオーディオ向けの需要が一時落ち込みました。一方、AV機器及びPCドライブ向けは、光ディスク以外の媒体へ移行が進んでいることから、需要の減少が続きました。検査装置は、中国の展示会へ積極的に出展して顧客獲得を図った結果、引き合い件数は大きく増加しましたが、受注時期は当下半年以降となり、計画を下回りました。その結果、売上高は1億23百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表の概要

(単位：千円)



ポイント①

現金及び預金の減少により、流動資産が前期末に比べ減少しました。

ポイント②

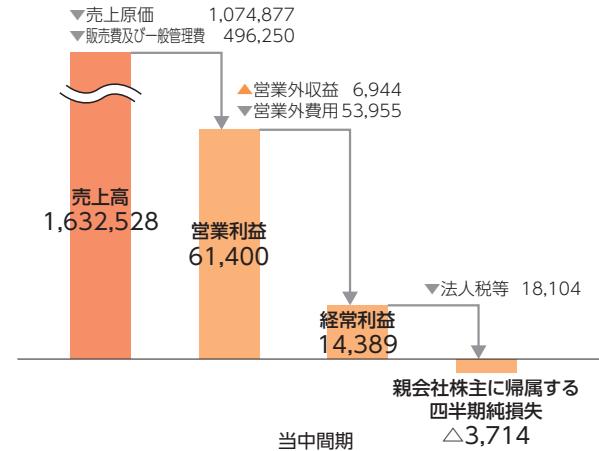
短期借入を実施したため、前期末に比べ流動負債は増加しましたが、長期借入金金の減少により固定負債が減少しました。

ポイント③

新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金が増加し、新株予約権が減少しました。

連結損益計算書の概要

(単位：千円)



ポイント④

為替差損50百万円を営業外費用に計上しました。

ポイント⑤

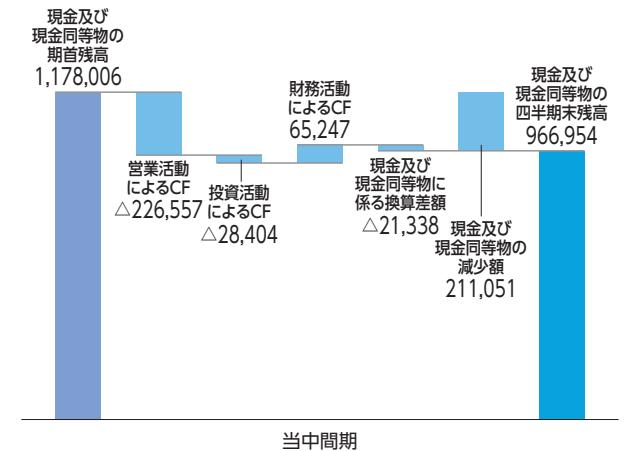
海外子会社の業績が好調に推移したため、法人税等の税金費用が18百万円発生しました。

ポイント⑥

たな卸資産の増加及び仕入債務の減少などにより、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。

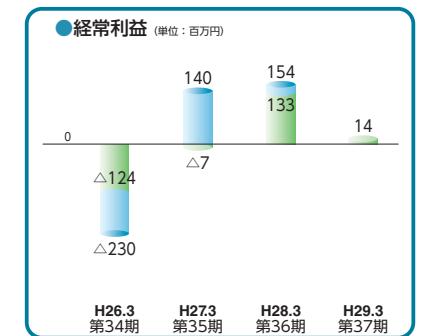
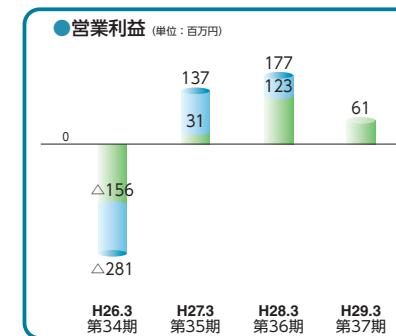
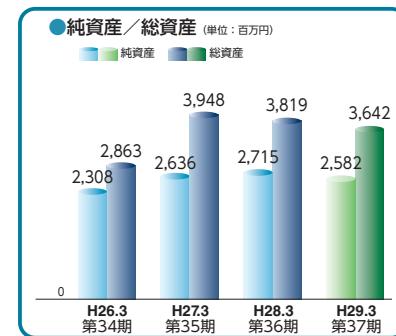
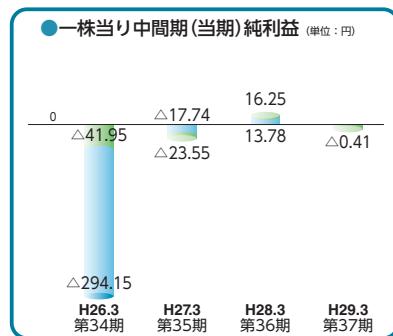
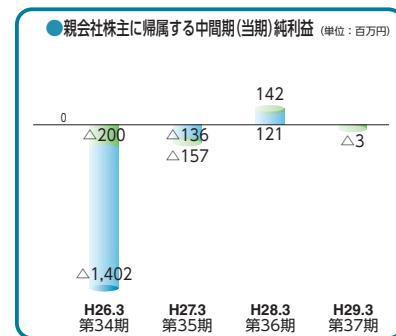
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：千円)



財務ハイライト

通期 中間期 : 連結

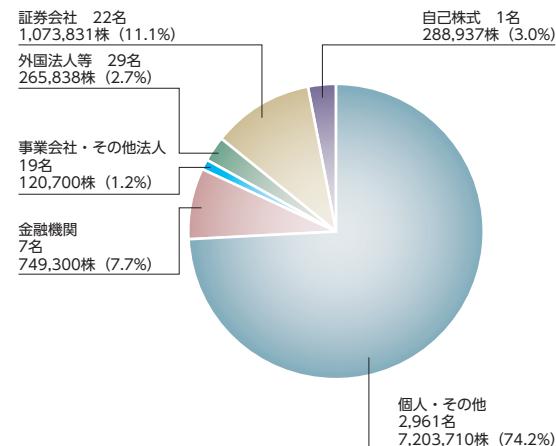


### 株式の概況 (平成28年9月30日現在)

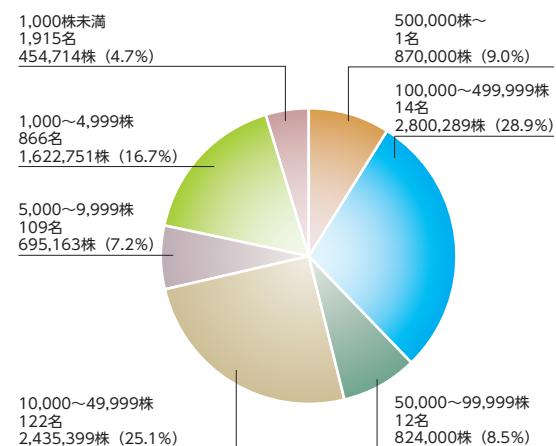
- 発行可能株式総数 36,769,264株
- 発行済株式の総数 9,702,316株
- 株主数 3,039名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	株	%
高橋 靖	870,000	8.96
カブドットコム証券株式会社	435,200	4.48
株式会社SBI証券	338,700	3.49
株式会社アルメディア	288,937	2.97
飯沼 芳夫	276,500	2.84
高橋 正	260,400	2.68
多摩信用金庫	214,000	2.20
日本証券金融株式会社	194,000	1.99
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	188,789	1.94
大原 達夫	147,100	1.51

### 所有者別株式分布状況



### 所有数別株式分布状況



### 会社概要 (平成28年9月30日現在)

商号 株式会社アルメディア  
 本社所在地 〒189-0013  
 東京都東村山市栄町二丁目32番地13  
 TEL. 042-397-1780 FAX. 042-392-9256  
 設立 昭和56年5月  
 資本金 11億3,812万円  
 社員数 182名 (連結)  
 業務内容 ①オーディオ、ビデオ、コンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスクの開発・製造・販売  
 ②DVDベリフィケーションラボラトリとしての認証テスト及び各種ディスクの特性テスト受託  
 ③光メディア用計測器の開発・製造・販売  
 ④電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売  
 ⑤光ディスクアーカイブソリューションの提供・販売  
 ⑥長期保存用ドライブ及び長期保存用ディスクの販売、産業用/AV機器用光ドライブの開発・製造・販売

事業所・支店 羽村事業所 (東京都羽村市)  
 九州事業所 (福岡県北九州市)  
 台北支店 (台湾台北市)  
 連結子会社 阿爾賽 (蘇州) 無機材料有限公司

### 役員構成 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	高橋 靖
取締役	井野 博之
取締役	相原 謙一
取締役	吹野 洋平
取締役	斎藤 泰志
取締役	高山 達明
常勤監査役	関 清美
監査役	藤井 篤
監査役	漆山 伸一

(注) 取締役 斎藤 泰志、高山 達明の2名は、会社法第2条第15号が定める社外取締役であります。監査役3名全員は、会社法第2条第16号が定める社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7859/7859.html">http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7859/7859.html</a>
金融商品取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7859

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、下記の電話照会先をお願いいたします。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
（郵便物送付先）〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
（電話照会先）☎0120-782-031  
受付時間 9:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）  
（ホームページ）<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

< 株式に関するその他のお問い合わせ窓口 >

株式会社アルメディア オ 総務部 株式担当  
TEL：042-397-1780 FAX：042-392-9256

ALMEDIO

## 株式会社 アルメディアオ

本社 / 〒189-0013  
東京都東村山市栄町二丁目32番地13  
TEL：042-397-1780  
FAX：042-392-9256  
<http://www.almedio.co.jp/>



UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。